

令和 3 年度決算に係る

定期監査資料

令和 4 年 5 月

鳥取県立中部療育園

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等 .....	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況 1 頁	
3	職員の定員、現員調べ .....	1 頁
4	役付職員の調べ .....	1 頁
5	主な事業に関する調べ .....	2 頁
6	現金の取扱状況 .....	6 頁
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
7	財産に関する調べ .....	6 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
8	財産の貸付け及び使用許可調べ .....	7 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
9	借受不動産明細調べ .....	7 頁
10	職員駐車場の管理状況調べ .....	7 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
11	寄附物件の受納状況調べ .....	8 頁
12	備品の処分状況調べ .....	8 頁
13	当該年度における業務の概要 .....	9 頁
14	障がい児通所支援の利用状況 .....	9 頁
	(1) 月別入退園調べ	
	(2) 市町村別在園児童数	
	(3) 年齢別在園児童数	
	(4) 児童退園後の状況	
	(5) 障がい手帳別年齢別児童数	
	(6) 病類別・年齢別児童数	
	<保育所等訪問支援>	
15	使用料（診療費）の請求等の状況調べ .....	11 頁
16	主な施設の整備状況調べ .....	12 頁
○	意見、要望等 .....	12 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項 該当なし

(2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況  
該当なし

3 職員の定員、現員調べ

(令和4年4月1日現在)

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
		当該年度	3.4.1現在	当該年度	3.4.1現在	当該年度	3.4.1現在	当該年度	3.4.1現在	
定員		4	4	7	5	0	0	11	9	
現員		(0) 4	(1) 5	(0) 7	(0) 5	(0) 0	(0) 0	(0) 11	(1) 10	育児休業1 10月1日採用1 (言語聴覚士)
過不足(Δ)		0	1	0	0	0	0	0	1	
臨時的 任用職員		0	0	0	0	0	0	0	0	
会計年度 任用職員		4	4	0	1	0	0	4	5	一般事務、医療 事務、医療事務 作業補助者、心 理療法専門員

4 役付職員の調べ

(令和4年5月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
園長	杉浦 千登勢	年 5	月 1	福祉保健部参事監
次長	谷川 英里	—	5	出納員 通算期間：5年1月
課長補佐	山本 真司	—	5	

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
中部療育園費 〔医療型児童発達支援（通園）、放課後等デイサービス、児童発達支援〕	9,984			9,984	
将来ビジョン		—			
令和新時代創生戦略		—			
政策項目		—			

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

中部地域保護者の20数年にわたる肢体不自由児療育機関の開設要望を受け、平成15年4月に暫定的に皆成学園内に開設し、同年6月から事業を開始。平成16年4月、倉吉市南昭和町に移転した。

平成24年4月に児童福祉法改定により、肢体不自由通園から医療型児童発達支援センターへ移行し、多機能型事業所として医療型児童発達支援事業、放課後等デイサービス、児童発達支援事業を行っている。

「利用者の増加」「ニーズの多様化」と「地域関係機関との質的連携の充実」を目的とし、令和2年4月16日に現在地に移転した。

(イ) 事業の実施状況

【医療型児童発達支援】(愛称：ぐんぐん)

肢体不自由児(重症心身障がい児を含む。以下、同じ)及び発達に支援が必要な未就学児童に対し、療育活動を通じて子育てに対する保護者の主体性を引き出しながら、日常生活動作の訓練、相談等必要な療育(福祉及び医療)サービスを提供し、各々の児童の適性に応じた育ちを応援する。

また、保護者同士で集い、情報交換や相談しあえる「場」の提供を行う。

(R4.3.31現在)

項目	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
契約者数	19	22	22	20	9
延べ利用者数	690	735	694	487	398
一日当たり利用者数	3.5	3.4	3.4	2.6	1.9

※定数 多機能型事業所として、医療型児童発達支援事業、放課後等デイサービス、児童発達支援事業の3事業をとおして1日当たりの定員は10名

【放課後等デイサービス】(愛称：もこもこ塾)

小集団での活動を通じ、児童それぞれの「運動」及び「コミュニケーション」の意欲向上を育むとともに、保護者同士で集い、情報交換や相談しあえる「場」の提供を行う。

(R4.3.31現在)

項目	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
契約者数	6	6	6	5	5
延べ利用者数	58	47	44	20	28
一日当たり利用者数	3.2	2.6	2.5	1.5	1.4

イ 令和3年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

〔医療型児童発達支援〕

- ・利用児童及び保護者のニーズの多様化に応じて、支援ニーズに合わせたスタッフ配置及び活動の設定を行い、感染防止対策を徹底しながら、個々の特性に応じた支援内容の充実を図った。
- ・就学準備として、保護者だけでなく市町の担当者やこども園との連携を細やかに図り、状況に応じ、感染防止対策を行いながら、訪問での支援も実施した。

〔放課後等デイサービス〕

- ・感染防止対策の徹底を行い、利用人数の変更(上限2名の小集団)、同席者の人数調整を実施しな

がら支援を提供した。

・医療的ケア児等、体調に配慮が必要な児に関しては、外来リハビリテーションで時間を組み、個別に対応を行った。

#### ウ 成果及び効果

##### 〔医療型児童発達支援〕

・利用児の一人一人の目標・ペースに合わせた細やかな支援が提供できたことで、支援ニーズや保護者の意向を意識し、活動内容に反映することができた。

・園訪問の機会は少なかったが、「子育て検討会」や保育園等の「支援会議（オンライン）」の場で、当園での目標・支援について、具体的に伝え共有ができた。

##### 〔放課後等デイサービス〕

・感染症対策のため、年間を通し小集団での活動となったが、利用児及び保護者と生活場面での様子や課題を細かく共有できたことで、タイムリーなニーズに沿った活動を提供することができた。

・保護者以外の支援者（学校・放課後等デイサービス等）と細やかに情報を共有することにも努めた  
が、支援の具体的な方法については、伝えにくさがあり、情報共有については今後の課題となった。

#### エ 課題

・新施設に移転し、施設面積自体は広がったが、利用児・者の心身状況に適した環境づくりや、感染症拡大防止対策を行いながら活動の継続ができる体制など、新たなニーズに対しての体制・施設整備が必要である。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
中部療育園費 〔外来診療〕					
将来ビジョン		—			
令和新時代創生戦略		—			
政策項目		—			
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
発達(知能や運動、言葉、行動や情緒など)に心配や不安、遅れや障がいのある児童の日常生活等に係る子育てや療育についての診察を行う。					
(イ) 事業の実施状況					
(単位：件)					
項目	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度
延べ診療件数	2,936	3,240	3,562	3,741	4,245
うち初診件数	226	167	209	212	200
うち再診件数	2,710	3,073	3,353	3,529	4,045
イ 令和3年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内外の感染状況を確認しながら、「電話診察」だけでなく、必要に応じて、診療環境に配慮し「対面診療」を行った。また感染状況に応じて、対面診療時には同席人数を制限し、診察室が密にならないようにする等対応を心がけた。</li> <li>・感染症拡大防止のため、診療やリハビリ時の同席人数を制限したが、児の生活場面の支援者に「情報提供書」や「電話」等を介して、コミュニケーションが滞らないように努めた。</li> </ul>					
ウ 成果及び効果					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内及び中部圏域の感染症の流行状況を鑑みながら、可能な限り、利用児や保護者のニーズに応じた「診療」を行い、不安や困り感の軽減を図った。</li> <li>・地域の関係機関(市町・医療機関・こども園等)と適宜、連携をとり情報共有を行ったこと、ケースの状況に合わせ、臨機応変に診療時期の配慮及び調整を行うことができた。</li> </ul>					
エ 課題					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来受診者数が急増する中、新型コロナウイルス感染症防止対策のため電話診療が増加しているが、電話診療では患者の様子が確認しにくい。また、感染症拡大防止対策や発達特性から来園や入館が困難な利用者の受診機会の制限をかける必要がある。これらを解消するため、オンライン診療の導入を検討する必要がある。</li> <li>・園長が常勤となった他、非常勤医師及び総合療育センター医師の診療援助により、診察枠の確保に努めているが、診察・訓練希望件数が多く、再診予約がとりにくい状況が続いている。</li> </ul>					

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
中部療育園費 〔障がい児等地域療育支援事業〕					
将来ビジョン		—			
令和新時代創生戦略		—			
政策項目		—			
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
障がいのある児童、及び発達に不安や心配のある児童を対象とした相談支援（地域支援）を、保護者、保育園・学校等に対して実施する。					
<input type="checkbox"/> 施設支援一般指導事業 ・ ・ 保育園等の職員に対する療育に関する技術指導 <input type="checkbox"/> 在宅支援外来療育等指導事業 ・ ・ 当園に来院していただき相談・指導を実施 <input type="checkbox"/> 在宅支援訪問療育等指導事業 ・ ・ 地域や家庭を巡回・訪問して相談・指導を実施					
(イ) 事業の実施状況					
【障がい児等地域療育支援事業】					
項目		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
相談・支援（保育所訪問等件数）		74件	30件	30件	
相談・支援（外来療育等指導件数）		8件	20件	20件	
地域療育セミナー （中部療育園主催）		R2. 2. 25 参加者109名	R3. 2. 20～R3. 3. 20 申込者 103名	R4. 2. 25～R4. 3. 24 申込者74名	
イ 令和3年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域療育支援の質の充実を図るため、依頼内容を集約し、週1回園内会議の時間を設け、具体的支援内容について検討した上で地域に返すことができるよう継続的に取り組んだ。</li> <li>・ 地域で暮らす「医療的ケア児」の増加により、相談や訪問依頼の件数も増加しており、電話・メール、オンラインを利用して連携していたが、必要に応じ、感染防止対策を行った上で家庭や関連施設、機関訪問での支援も実施した。</li> <li>・ 地域療育セミナーは、感染症の拡大防止に配慮し、オンラインでの動画配信を行った。</li> </ul>					
ウ 成果及び効果					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各機関が感染症予防を行ったことで、施設支援（訪問）の依頼は例年より少なかったが、就学や就園にむけての移行会議等、オンラインでの会議参加の依頼が多かった。また、医療ケア児等の就園・就学移行の準備として、会議の参加だけでなく、看護師や理学療法士等による具体的な支援方法のアドバイス等、医療スタッフへの地域のニーズが更に高まってきている。</li> <li>・ 地域療育セミナーを動画配信として開催したことで、講演会方式では参加が難しかったと思われる保護者の申し込みが増加し、情報を届けたい対象者へ情報を届けることができた。</li> </ul>					
エ 課題					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染状況に配慮し、感染症拡大防止対策を行いながら可能な限り、出向いて支援する機会を確保してきたが、従来どおりの支援方法だけでは対応の難しさがある。</li> <li>・ 外来業務での対応が増加していることから、外部に出向く支援が実施しづらい状況は変わらない。</li> </ul>					

6 現金の取扱状況

(1) 現金取扱状況

(令和4年3月31日現在)

収入科目(節)	収入済額(円)	件数(件)	備 考
児童福祉施設使用料	1,7824,332	3,575	外来診療自己負担金に係る窓口領収額(診察料)他
児童福祉手数料	828,960	355	診断書、証明書
雑入	10	1	情報提供料
合 計	2,613,302	3,931	

(2) つり銭の状況

(令和4年3月31日現在)

つり銭の有無	有	つり銭の額(円)	30,000円

7 財産に関する調べ

(1) 公有財産

- ア 土地 該当なし
- イ 建物

(令和4年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況					本年度末		備考	
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m <sup>2</sup> )		価額(円)
行政財産	中部療育園	倉吉市 上井503番地1	1488.38	0	増加	R				R	1488.38	0	
					減少	R				R			
計													
合計													

- ウ 山林 該当なし
- エ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし
- オ 物権 該当なし
- カ 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等) 該当なし
- キ 有価証券 該当なし



(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況 該当なし

8 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

(令和4年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住所氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	電力供給	倉吉上井503番地1	支線1条	R2.4.1	R2.4.1	R2.4.1 ~ R7.3.31	年額 1,500	1,500	倉吉市駄経寺町245-6 中国電力ネットワーク株式会社倉吉ネットワークセンター	文書ID: 21-00006924
計								1,500		
合計								1,500		

イ 建物 該当なし

(2) 物品 該当なし

9 借受不動産明細調べ 該当なし

10 職員駐車場の管理状況調べ

(1) 管理状況

(令和4年3月31日現在)

財産の区分	所在地	1区画の面積(m <sup>2</sup> )	貸付(使用)料(月額)(円)
行政財産	鳥取県倉吉市上井503番地1	12.5	4,000
普通財産			

(2) 減免の考え方(減免を行った場合のみ)

公有財産事務取扱要領第5章第11項により減免を行う。

所属:鳥取県いじめ・不登校総合対策センター職員3名の使用料について減免を行っている。

・公共交通機関による通勤が困難であり、1か月に5日以上に該当(減免率2分の1):1名

・公共交通機関による通勤が困難であり、1か月に10日以上に該当(減免率4分の1):2名

(3) 使用料の見直し 該当なし

1 1 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

1 2 備品の処分状況調べ 該当なし

## 療育園個別事項

### 1.3 当該年度における業務の概要

「5 主な事業に関する調べ」に記載。

### 1.4 障がい児通所支援の利用状況

<児童発達支援・医療型児童発達支援・放課後等デイサービス>

(1) 月別入退園調べ

(単位：人) (令和4年3月31日現在)

区分	前年度 3月末 現在	入退園の状況														年度末 現在	
		入退 園の 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	入退園 合計		
児童 発達 支援	0	入園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		退園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
医療 型児 童発 達支 援	20	入園	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9
		退園	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	12	
放課 後等 デイ サー ビス	5	入園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
		退園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	25	入園	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	14
		退園	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	12	

(2) 市町村別在園児童数

(単位：人)

(令和4年3月31日現在)

区分	倉 吉 市	北 栄 町	湯 梨 浜 町	琴 浦 町									合計
児童発 達支援	0	0	0	0									0
医療型 児童発 達支援	3	1	4	1									9
放課後 等デイ サービス	0	3	2	0									5
計	3	4	6	1									14

## (3) 年齢別在園児童数

(単位：人)

(令和4年3月31日現在)

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	計	
児童発達支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療型児童発達支援	0	0	1	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
放課後等サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0	5
計	0	0	1	3	5	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0	14

## (4) 児童退園後の状況

(単位：人)

(令和4年3月31日現在)

区分	施設入所	保育所入所	就学	その他	合計
児童発達支援	0	0	0	0	0
医療型児童発達支援	0	0	11	1	12
放課後等サービス	0	0	0	0	0
計	0	0	11	1	12

## (5) 障がい手帳別年齢別児童数

(単位：人)

(令和4年3月31日現在)

区分	身体障害者手帳			療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			計
	1級	2級	3級以下	A	B	1級	2級	3級	
児童発達支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療型児童発達支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放課後等サービス	5	0	0	0	0	0	0	0	5
計	5	0	0	0	0	0	0	0	5

## (6) 病類別・年齢別児童数

(単位：人)

(令和4年3月31日現在)

区分	脳性まひ	染色体異常	発達障害	発達遅滞	その他	計
児童発達支援	0	0	0	0	0	0
医療型児童発達支援	0	1	7	1	0	9
放課後等サービス	4	1	0	0	0	5
計	4	2	7	1	0	14

&lt;保育所等訪問支援&gt; 該当なし

15 使用料（診療費）の請求等の状況調べ

（単位：円）（令和4年3月31日現在）

区分	社会保険診療報酬支払基金					国民健康保険団体連合会					市町村負担分					計					被保険者負担	合計
	請求額	返戻	増	減	調定額	請求額	返戻	増	減	調定額	請求額	返戻	増	減	調定額	請求額	返戻	増	減	調定額		
4月	1,265,582	4,852	6		1,260,736	248,095	0	0	0	248,095	5,870	0	0	0	5,870	1,519,547	4,852	6	0	1,514,701	127,410	1,642,111
5月	(9,470) 892,330	4,262	2,000	2,130	887,938	155,989	0	0	0	155,989	6,330	0	0	0	6,330	(9,470) 1,054,649	4,262	2,000	2,130	1,050,257	138,850	1,189,107
6月	1,395,674	2,870	0	70	1,392,734	205,336	0	0	0	205,336	7,750	0	0	0	7,750	1,608,760	2,870	0	70	1,605,820	198,090	1,803,910
7月	1,530,360	0	0	0	1,530,360	231,915	0	0	0	231,915	5,170	0	0	0	5,170	1,767,445	0	0	0	1,767,445	179,000	1,946,445
8月	1,287,444	22,047	0	54	1,265,343	205,100	0	0	0	205,100	2,930	0	0	0	2,930	1,495,474	22,047	0	54	1,473,373	156,290	1,629,663
9月	1,052,409	0	0	0	1,052,409	181,979	0	0	0	181,979	12,740	0	0	0	12,740	1,247,128	0	0	0	1,247,128	190,070	1,437,198
10月	1,409,709	0	530	0	1,410,239	205,369	11,170	0	0	194,199	6,110	0	0	0	6,110	1,621,188	11,170	530	0	1,610,548	195,060	1,805,608
11月	1,511,166	19,520	0	0	1,491,646	(11,170) 183,974	0	0	0	183,974	11,570	0	0	0	11,570	(11,170) 1,706,710	19,520	0	0	1,687,190	167,200	1,854,390
12月	(19,520) 1,234,340	0	0	0	1,234,340	156,120	0	0	0	156,120	19,450	0	0	0	19,450	(19,520) 1,409,910	0	0	0	1,409,910	164,070	1,573,980
1月	1,199,130	11,744	0	2,534	1,184,852	166,316	0	1,252	0	167,568	10,070	0	0	0	10,070	1,375,516	11,744	1,252	2,534	1,362,490	183,150	1,545,640
2月	1,296,394	24,650	500	0	1,272,244	187,150	0	0	0	187,150	0	0	0	0	0	1,483,544	24,650	500	0	1,459,394	82,050	1,541,444
3月	(31,972) 615,874	0	0	0	615,874	108,854	0	0	0	108,854	1,610	0	0	0	1,610	(31,972) 726,338	0	0	0	726,338	179,340	905,678
計	(60,962) 14,690,142	89,945	3,036	4,788	14,598,715	(11,170) 2,236,197	11,170	1,252	0	2,226,279	89,600	0	0	0	89,600	(72,132) 17,016,209	101,115	4,288	4,788	16,914,594	1,960,580	18,875,174

※ 請求額・計欄の（ ）書きは、再請求分以内数。

16 主な施設の整備状況調べ

(令和4年3月31日現在)

施設名	取得・造成・新築・改築・修繕等の別	面積 又は 数量	取得等の年月日 ・ 工事期間	金額	備考
中部療育園3階便所止水及び臭気処置等整備業務	修繕	1	令和3年6月11日 ・ 令和3年5月18日～ 令和3年6月30日	264,000円	営繕課予算
中部療育園1階(事務室・受付)電気配線工事	修繕	1	令和3年8月23日 ・ 令和3年8月5日～ 令和3年8月31日	176,000円	
中部療育園3階便所臭気止め追加工事	修繕	1	令和3年12月10日 ・ 令和3年11月18日～ 令和4年1月31日	220,000円	営繕課予算
中部療育園3階屋上ハッチ取替え及び屋上シャフトの補修工事	修繕	1	令和4年1月26日 ・ 令和3年11月16日～ 令和4年2月28日	488,400円	営繕課予算

(注) (1) 主管課、営繕課の予算で執行したものを含み、その旨を備考欄に記載すること。

(2) 土地の取得・造成も含み、その旨を備考欄に記載すること。

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし